

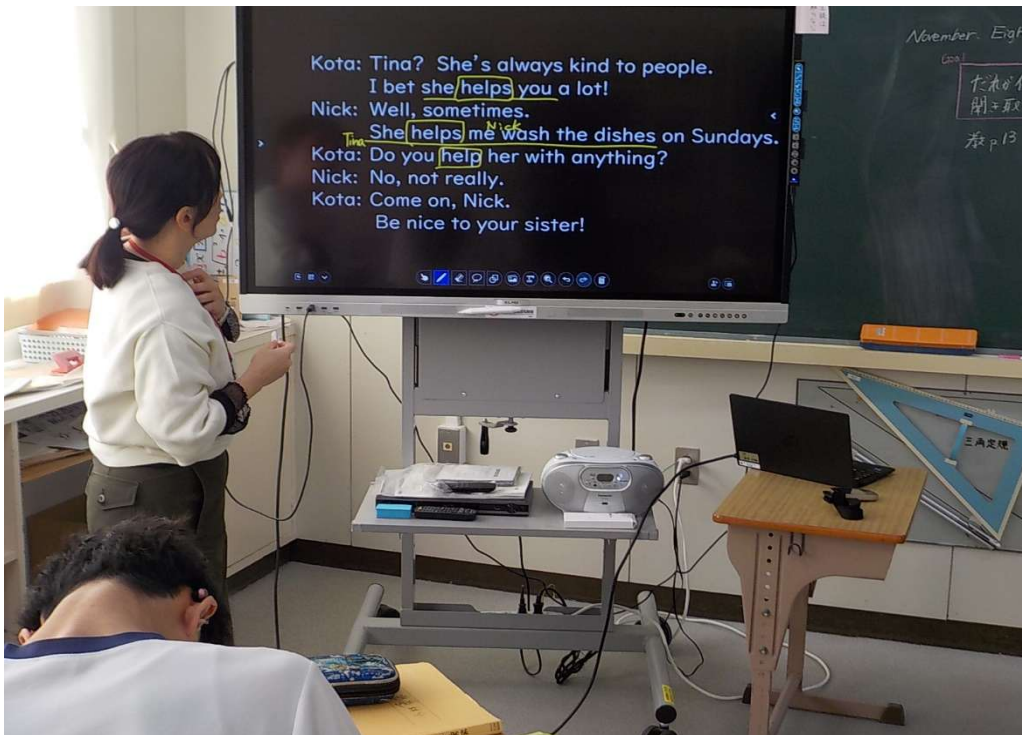
令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜松聾学校 P T A					
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	28名				

1. 使用状況

寄贈物品名	電子黒板（ディスプレイ型）
使用学年及び人数	中学部3年1組(3人)
使用頻度	毎日
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で実施する授業すべてで、電子黒板を使っており、デジタル教科書やパワーポイントなどの情報保障のため有効に使っている。 ・インターネットにもつながるため、社会の授業で動画サイトの動画を流したり、いろいろな授業で見たい部分を拡大したりして活用している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のリスニングテストでは、音声と同時に字幕を表示している。 ・学習者全員の感想や考えなどを一人一台端末と繋げることで瞬時に映し出し、情報共有や意見交換をすることができる。そのため、じっくり意見交換をする時間を捻出することができ、深い学習に繋げていくことができる。 ・教師間で、電子黒板に書き込みデータを保存したり、もっと使える機能はないか紹介し合ったりしている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書やパワーポイントなどのスライドに書き込んだり、資料や写真を取り入れたりすると、視覚情報が大切な聴覚障害児にとって有益である。また、他の校種と比べて使用頻度はとても高い。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・希望としては、電子黒板のありがたみを感じているだけに、電子黒板がない教室(美術室等)での情報の提示の仕方に物足りない場面がある。

2. 活用の様子



- 背景の黒色がきれいなので、教科書の文や書き込んだ文字がはっきり見える。